



青森県教組養護教員部 2021.10.27.

折々のことば

鶴田清一

2160

自信たっぷりに話す人を前にすると、遅れている自分が情けなくなることがある。でも無理して、小難しい言葉を使ったり、性に合わない場所に行ったりする必要はない。書店主は言う。「人は不器用なもので、時間もかけたことしか身につかない」。でも、「その人らしく語られたものであれば、人は自然とその声に耳を傾ける」ものだ。随想集『小さな声、光る棚』から。

辻山良雄

2021.9.30

*今まで「適応指導教室」といふ名前を使っていましたが、もうございません。

声が大きな人をそんなに気にする必要はない

退職の日々をまへ

2021 教育全国署名

子どもたち一人ひとりにゆきとどいた教育を実現するために、教職員の長時間過密労働を解消するためにも、教職員定数の抜本的改善が必要です。署名にご協力ください。

- 自分1人分でも結構です。誰かに声をかけることができればもちろんいいですね。
- 同封の封筒で返信してください。年内を目途にお願いします。

お元気ですか

人に会うことが制限され、組合の委員会や学習会が出来ないように。それぞれの持ち場で今出来ることを精一杯にやろう! 前向きに生きよう!



『声』欄

→

教育相談員 福元 尚美

(鹿児島県 58)

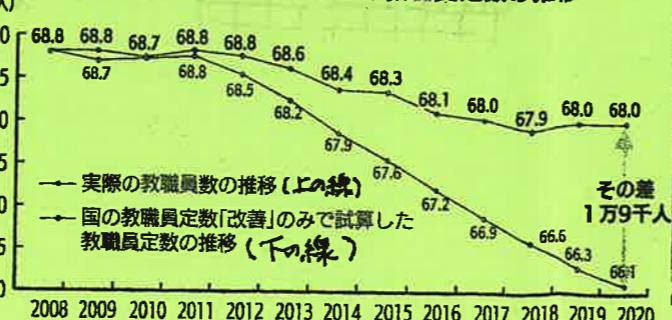
「野戦病院」という言葉 胸痛む(6日)の投稿を読み、言葉の難しさを感じました。私はその名前のイメージから「混乱した大変な状況下にある病院」とぼんやりと理解していました。でも、安易に流用することはできないくらい悲惨な歴史、過去が重なる言葉なのだと学びました。

不登校の生徒が通う場所のひとつに「適応指導教室」があります。数年前、

国の責任で教職員の増員を!

公立小・中学校の教職員は2008～2020年度で、約2.7万人の定数削減がおこなわれました。一方、地方自治体は独自に教職員の配置をおこない、実数減を約9千人に止めています。しかし、地方財政は厳しく、自治体によって教育格差が生まれています。国の責任で、教員定数増をすすめることが求められています。

2008年を起点としたときの教職員定数の推移



共感と対話重ね 言葉学びたい

→

神奈川県愛川町 大矢 美登里

無職 69歳

相談を受けた不登校の生徒の保護者から「登校できな

いことを指導されるよう

度

「と先の時間

を当てる

度

「と月

を月

11年ほど前に息子からもらったシャーペン。持つ部分がゴムになっていてとても使いやすく、ずっと愛用してきました。ところが芯が出てこなくなりました。寿命かなと思いました。つつあちこちいじってみましたが、駄目でした。もしかしたら直してくれるかもしれないと思いましたが、弘前市土平町にずっと昔からある万年筆やさん(私が知ったのは高校時代ですか)。

1時間で直してくれました。ペン先がつぶれていたそうです。修理代500円。すくすく喜びました。落としたりぶつけたりしないように気をつけよう。この店は、退職記念に自分用の万年筆を買った所です。

長く続いているお店は信頼されていて固定客もついています。私のようなファンもいると思います。

文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)

美術館巡りや町歩きが趣味の私が、コロナ禍でお出かけを見合せている。これまでいけないと、週3回ほど、1回1時間と決め

するものひとつひとつに「ありがとう」と言い、さ

よならをする。

そんな生活を1年以上続けていると、タンスに少し

ヤツが、一度も出番なく積まれたままになっているの

が自立つ。思い切って、家で着てみると、丸

び、姿勢が良くなる。ご飯

を食べるときも、汚れない

ようになつくりと。雑な所

作が、少しづつ修正され

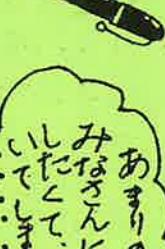
いくのが心地よい。

食器棚の奥に、お気に入りだったお客様さま用の湯飲み茶わんも見つけ、使つてみた。湯冷しも使い、丁寧にお茶を入れる。茶托に載せて、自分をおもてなし。いつもの茶葉なのに、なんでおいしいんだろう。

お片付けを通じて、日々の暮らしを気負わず、楽しめるようになった。限られた人生。「いつか」や「今」を月き寄せ、大切な物を大切に使い切りたい。

朝日新聞 2021年9月27日付け この日の記事2つがとてもいいとみ、ぜひ紹介したい

なあと思いました。バトを動かされる記事に出合つとすじ「載せたい!」と思ってしまいます。



いしみありの嬉しいお知らせ

自分からあいさつをする。

CHECK!



知り合いのいない新しい環境でも、コトバも通じないような場所でも、なんといつても最初は「あいさつ」です。コトバを発したてのコドモにも、「バイバイ」のあいさつから覚えさせるしね。

「あいさつ」は、人と人との潤滑油。

仕事場や自分のいつもいる場所でのあいさつは当然のことできるんだけど、顔だけはわかるけど名前は……というあやふや中間緩衝地帯の人とはどうでしょ？ 自分の住んでいるマンションや地域での話です。たとえ知らない人でもエレベーター やホールで一緒になつたら、「おはよう」「さいます」などとあいさつしましよう。気がつかなくて無視されちゃうこともあるけど、めげずに勇気を出すのだ。駅員さんの「おはようございます」にも、ちゃんと返そ。

年齢も上下関係もこえて、自分の後輩や年下の人でも、一ちらからどんどんあいさつをしちゃおう。

あいさつはいくら言つても減らない。相手に聞こえるように、大きな声で。

言つた自分が一番気持ちいい。

